

令和4年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第5回議事録（要旨）

日 時：9月2日（金）午後6：15～

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 13名（中里委員長、小餅副委員長、高橋委員、大上委員、木川委員、牛田委員、伊東委員、北山委員、栗原委員、横山委員、島津委員、加藤委員、中野委員）

事務局 3名

1 開会

2 議題

（1）夏季平和事業の振り返り【資料1-1、資料1-2、資料1-3】

・事務局より夏季平和事業のアンケート結果等について説明。

【委員】パネル展の入り口付近でお話した方で、興味はあるがヒロシマ原爆資料館で観た写真がトラウマで観られないという子連れのお母さんがいた。他には親が被爆者で観られないという方も。手前に中島飛行機、奥に原爆のように並べるなど工夫してはどうか。

一般向けイベントの参加者は54名だが、定員は何名か。

【事務局】会場は定員100名だが、プレイスの図書館が同じ会場で映画会をよく開催しており、それを参考にして50名を定員とした。申込者は64名だったが抽選は実施せず全員の申込をお受けするなど、今回は弾力的な対応をした。

【委員】パネル展に市政についての文句を言いに来た人がいた。市ではなく、平和事業実行委員会主催だと言った方が落ち着いたのではないか。

【委員】垂れ幕などにも主催は「武蔵野市・非核都市宣言平和事業実行委員会」という書き方をしているので市が主催の1つではある。

プレイスギャラリーでのパネル展は2日目の来場者が多かった。これはB29の大型パネルの前に地図と説明文を設置したためかと思われる。また、来場者には入口で住所を記入いただいたが、思ったより市外の方が多く、嬉しい反面、市内の人々に訴求が足りていないと感じた。上映が終わったのは午後4時半頃だったか。

【事務局】上映が終わったのは午後3時半頃。

【委員】プレイスギャラリーでのパネル展を1日目だけでも、午後6時まででできればよかった。上映会の会場から流れてくる人もいて、もっと観てもらえるかもしれない。

一般向けイベントでは申し込んだのにはがきが届いていないという来場者が数名いたので、システムにバグがないか調べる必要があるのでは。子ども向けイベントは参加者が少なく、参加者のうちターゲットである子どもは6名。投影された画面は、絵本や紙芝居にライトが当たっており中央が真っ白になっていた。もし来年ワークショップをやるなら、仕込み等のことも考えると早くから動かなければ間に合わない。

- 【委員】吉祥寺駅南北自由通路はなこみちでのパネル展は1時間あたり100名くらい来場者がいて場所がよい。11月24日が武蔵野市平和の日であることを知っているかという質問を来場者10名にしたところ、知っている方は0名、パネルを観て知った方が1名、他9名は知らないという回答だった。もっと市民に知ってほしい、周知が足りていない。
- 【委員】子ども向けイベントで投影されていた画面の中央が白く、画面下側が黄色く見えた。リハーサルが必要と感じた。
- 【委員】投影された画面が見えにくいようで、体を動かしている子どももいた。
- 【委員】パネル展は毎年同じ内容なので新しいものがほしい。B29の大型パネルの説明をもっと大きく分かりやすい文章にできないか。行政文書のような書き方ではなく、興味が湧くような文章だとよい。
- 【委員】大人向けイベントの映画はもっと音量を上げられるとよい。ただ、今回の映画に関しては、参加者は字幕を観ていたので必要なかったか。アンケート結果の評判がとてよかったので映画を推薦した者として嬉しい。
- 【委員】例年のアンケート結果よりも評価が高いということか。
- 【委員】例年の結果も悪くはないが、今年は「とてもよかった」と回答した人が8割を超えている。他には数年前の「母と暮らせば」の上映会も評判がよかった。また、子ども向けイベントは宣伝の仕方に課題が残る。
- 【委員】学校で夏休みが始まる前にちらしやポスターの配布をできないか。
- 【事務局】各学校に配布できる枚数には上限があり、規定数の配布は行っている。
- 【委員】学校には様々な機関からもすごい量の配布物が届くため、時には配布ができずに捨ててしまうこともある。発信の仕方に工夫が必要だと思うが、教育委員会との関係等いろいろ難しいのではないか。パネル展の中身については考えたい。
- また、展示物には子ども向けの解説も必要。子ども向けの工夫として、静岡県民間団体がQRコードを読み込むと音声の解説が流れるというものに取り組んでいた。難易度の設定など課題もあるが、おもしろいと思った。
- 【委員】学校の平和授業の後にちらしなどを配布するのはどうか。平和学習をカリキュラムとしてやらない学校もあると聞いたが、教育委員会へプッシュできないか。
- 【事務局】平和教育・学習という名称で授業に盛り込まれているかは分からない。授業や行事の組み立ては各学校の判断のため、学校によっては熱心な先生もいるが、各校で同じように取り組むというのは難しい。子ども向けイベントの周知については、今回のちらしでは表に大人向けイベント、裏に子ども向けイベントが載っていたため、このあたりは作り方など工夫ができる。
- 【委員】大学ではボランティアサークルで周知ができないか。子ども相手の活動などがあれば周知できる気がする。
- 【委員】子ども向けの活動はなく、大学内の学生に向けてボランティアをしましようという呼びかけをすることをコンセプトとして活動している。
- 【委員】子ども向けの活動に詳しい方との接点などはあるか。
- 【委員】大学にはいくつかのボランティアサークルが存在するため、詳しい方がいるとは思う。

- 【委員】子ども向けイベントについて、司会をやっていたので子ども達の様子が見えたが、お母さんに連れてこられたのかなという子どもが多かった気がする。もっと子ども自身が行きたいと思えるようなイベントができるとよい。
- 【委員】映画はとてもよかったが、ちらしの表面が少しこわい。パネル展はお子さん連れのお母さんは観るのに抵抗のある方が多い。知られていかなければならない事実だが、もっと落ち着いてゆったり観られるような、心が温まるような平和を、他の視点からも考えられるとよい。
- 【委員】順路を作って最後にほっこりするような配置であるとよい。
- 【委員】平和の絵や写真で、心が温まるような表現もできると思う。
- 【副委員長】ちらしが暗かった。上映会の前に市の平和事業についてのお話があったが、話に合わせて後ろに文字などを投影するのもよい。
- 子ども向けイベントは内容も司会者のコメントもとてもよかった。この会議で出た意見を踏まえて中身を工夫すれば、レベルアップできると思う。
- パネル展では小さなお子さんが来た際に、お母さんがパネルを観ている間に作業すること、例えば紙に描くなど、楽しめるものがあるとよい。
- 【委員】委員長が用意してくれた虫は子ども達が楽しそうでとてもよかった。
- 【副委員長】虫の育て方の説明もあって喜ばれていた。
- 【委員】大人向けイベントに関しては参加者人数も感想もよかったと思う。子ども向けイベントは、がちがちに平和のイベントにするのではなく、延長線上に平和のを感じてくれたらいいな、と肩の力を抜くくらいの、子どもが参加しやすいイベントとするのがよいかもしれない。
- 【委員】来場者が自由に持って帰れる平和事業に関する冊子があるが、選ぶのが面倒な人がいたので、本屋さんのように袋に入れてセットを作っておくとよいのではないか。

(2) 平和の日イベントについて【資料2】

- ・事務局より平和の日イベントについて説明。
- 【委員】11月23日の講演会に合わせて、会場である武蔵野公会堂のロビーにてパネル展ができないか。
- 【事務局】青少年平和交流派遣団の団員が長崎や原爆、平和などをテーマに学習したことを模造紙にまとめた作品があり、是非会場ロビーに展示したいと考えている。
- 【委員】展示物が決まっているのであれば是非そうしていただきたい。
- 【委員】午後1時30分開会となっているが、開場時間を早めに設定し、青少年平和交流派遣団に関する展示がある旨を宣伝できないか。
- 【事務局】リハーサル等と時間が重なってしまうため難しい。
- 【委員】では、公会堂の外に展示をできないか。
- 【事務局】展示するのは団員に作成いただいたものなので、職員などの目が届く場所ではないと難しい。
- 【委員】西部コミセンで11月19・20日に文化祭があるため、その日程に合わせてミニミニパネル展を実施したい。パネル展の内容がいつも同じものなので新しいパネル等があるとよい。

- 【委員】ほっこり系の新しいパネルがほしい。
- 【事務局】コミセンでのミニミニパネル展は是非そのように実施していただきたい。新しいパネルについては今の平和活動の写真、例えば昨年の平和の集いなどの写真をパネルにするということはできるかもしれないので、検討したい。
- 【委員】風船を飛ばしている写真など、市民の方が写っているが肖像権はないか。
- 【事務局】既に市から広報物等に出している写真であれば問題ない。
- 【委員】大型パネルに、キャプションがない。説明がもっと大きく分かりやすいとよい。
- 【委員】大型パネルの説明はひとまわり大きくしたい。
配布物は白黒が多いが、「平和事業の記録」などカラーにできないか。1枚カラーが入っているだけでも印象が変わる。
- 【委員】大型パネルをカラーにすることはできないか。
- 【事務局】カラーだからこそ身近に感じられる、目を引くということはあると思うので現段階でどこまでできるか考えたい。
- 【委員】ふるさと歴史館にはカラー映像があるので、一部分を切り取って写すことができるかもしれない。鮮明ではないが、上空から撮影したものがある。
- 【委員】AIでの着色などもできると思う。
- 【委員】11月24日が武蔵野市平和の日であることが市民に認知されていないので、2週間だけでも宣伝カーを走らせるなど、市内で宣伝ができないか。
- 【委員】三鷹市では8月15日、3月10日に拡声器で黙とうの呼びかけがあるが、武蔵野市では騒音などの規制の動きもあるので難しいと思う。
- 【委員】地方では選挙の呼びかけなどを放送しているところもある。
- 【事務局】地方ではそういった例もあるが、武蔵野市内では防災無線が聞こえなくて、今の放送はなんだったのか、と不安になる方もいる。FMやケーブルテレビなどの使い方を工夫し、露出を高めることを検討したい。
- 【委員】国連子どもの日が11月20日、武蔵野市平和の日は11月24日なので、子ども・平和がコラボできるとよい。

(3) 令和5年度憲法月間記念行事について【資料3】

・事務局より令和5年度憲法月間記念行事案について説明。

- 【委員】オノ・ヨーコ氏を推薦する。若い世代の方でも観たい人がたくさんいると思う。平和活動をされていて、憲法についての講演会ではないが、実際に自分自身が平和活動を始めたのはオノ・ヨーコとジョン・レノンの2人の影響。呼べたら話題になると思う。
- 【委員】西原春夫氏を推薦する。ご高齢のため難しいかもしれないが、武蔵野市と縁があり、戦時中は旧制成蹊高等学校にいた。
田中優子氏を推薦する。テレビにもよく出ている有名な方だが、護憲というはっきりした立場にいらっしゃる方ではある。
上西充子氏を推薦する。ごはん論法で話題になった方で、国会に呼ばれて意見を言ったりすることもある。労働問題が専門だが、国会を街中で観るパブリックビューイングの取り組みなどアイデアがおもしろい。その世界では有名な方なので忙しいかもしれない。

【副委員長】松元ヒロ氏を推薦する。分かりやすく楽しく説明ができる方。護憲という立場がはっきりと決まっている方なので難しい気もするが、楽しく学べると思う。

【委員】石川健治氏を推薦する。令和2年に呼んでいたことを資料3で知った。学者肌なタイプの方で、安保法制違憲訴訟の原告団体に足を運んだ時に講演をされていた。

伊藤真氏を推薦する。憲法をこよなく愛する弁護士。自分自身が弁護士になるための勉強をさせていただいた。専門予備校には若い方も通っているので、若い人向けにも、また、偏らないような話もできる。

岩上安身氏・梓澤和幸氏・澤藤藤一郎氏を推薦する。著書「前夜 日本国憲法と自民党改憲案を読み解く」では3名が対談しながら憲法について話している。

平和事業実行委員会として憲法をテーマにする、となると令和4年憲法月間記念行事で上映した「第九条」はストレートだが、似たようなことを2年連続でやるよりも、実は憲法改正というのは多岐にわたることを知らない方がたくさんいると思うので伝えたい。

【副委員長】新たに推薦したい方がいたら、出してほしい。

(5) その他

- ・事務局より青少年平和交流派遣事業、平和の日イベント広報について報告
- ・次回の委員会は、10月25日（火）午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

3 閉会